

## ぜひ行ってみませんか？

柚木川内キャンプ場開きが7月1日に行われました。このキャンプ場の安全を願いおはらいがあり、副市長をはじめ、市議会議員や柚木川内の地区長などが参加しました。

緑豊かな自然があり、龍王の滝の下流に位置します。橋口副市長は、「ここ最近、利用客数が減ってきていますが、安全で安心して利用ができるように、また、多くの皆さんが足を運んでくれるように取り組んでいきます。事故がないように祈念します」と話しました。



## わたしたち、頑張ってきました！

志佐中学校と今福中学校の生徒2人が7月1日から3日までの3日間、市立図書館で職場体験をしました。

職場体験生は、海の生き物をテーマにしたコーナーを作っていました。最初は広い図書館から、指定された本を見つけることから始め、次にバーコードを読み取り、本を置くコーナーを作ったりと、なかなか忙しそうでした。

2人が準備した手の込んだコーナーとなっています。ぜひ、借りに行ってみてください。



※松本匠巳さん（志佐中3年）が作成しました。

## 初めての放水体験！

7月1日に、消防署の職場体験取材しました。

今回の職場体験は、浄水場にて、放水訓練がありました。放水訓練を見るのは初めてで実際に見たとき、かなり迫力がありました。

その後、職場体験に参加していた中学生に感想を聞いたところ、「水圧が強くて、抑えられない」などの声が聞かれ、消防士はすごく大変なんだと感じました。体験している中学生は、大変そうに見えました。

みなさんも機会があれば、体験するといいかもかもしれません。



## いつまでも長生きを

「すっきり元気教室」が7月1日、きらきら21で行われました。

この教室は、高齢者の皆さんにいつまでも元気に過ごしてほしいという気持ちを込めて開催されています。

計算や国語、数字並べなど、いろいろな体験があり、この日、職場体験に来た中学生も参加し、とてもにぎやかでした。

参加者の皆さんは、終わった後の会話も盛り上がり、たくさんふれ合っていました。

こういう教室があるからこそ、元気で生きがいのある生活が送れるので、ぜひ参加してみてください。



※副島陽天さん（今福中2年）が作成しました。



積極的に動くといろいろなことができる

職場体験で市役所の仕事をしてみても、責任が重く、大変な仕事であるということと、地域の人たちと仲良くする楽しさを知りました。

市報作りは、自分で撮った写真や考えた文章を編集する作業で、最初は全然できなくて悩みましたが、職場の人のアドバイスでスムーズにできるようになりました。

今回の職場体験では、仕事の大変さ、楽しさを教えていただきました。学んだことを将来に生かせるように頑張ります。



調川中学校 3年  
篠原 亮さん



初めてだらけ…緊張感と達成感

職場体験では、普段見ることのできない記者発表や社会を明るくする運動パレードなどを見ることができました。

初めて一眼レフカメラを使いました。使ううちに慣れてきて写真を撮るのが楽しくなりました。

市報作りは、慣れないパソコンを使って写真や文章の編集や校正を考えるのが辛かったけど、できた時はうれしかったです。

名刺の渡し方も教えてもらい、将来のためにもいい勉強になりました。



志佐中学校 3年  
松本匠巳さん



たくさんの人とのふれあい

市役所は、事務以外にもさまざまな仕事があることを知りました。今回の職場体験で一番印象に残ったことは、鷹島神崎遺跡の記者発表です。少し緊張し、写真を撮る時にテレビ局のカメラに挟まれたりと大変だったけど、いい写真が撮れたのでよかったです。

普段は写真を撮ることがほとんどなかったけど、実際にやってみると楽しくて興味を持ちました。

この3日間であんなにたくさんの人と学ぶことができたので、これからも生かしていきたいと思えます。



今福中学校 2年  
副島陽天さん

職場体験で気づき広がる  
秘めた「可能性」

今回の職場体験では、初日には緊張で仕事を覚えることに必死で、不安そうな表情だったのが、最終日には、やり遂げた達成感によって自信に満ちた表情に変わりました。

市報作りにおいては、カメラやパソコンの操作、取材で人へ声を掛けることにも慣れ、文章作りや写真のレイアウトも工夫しながら仕上げることができました。

子どもたちは、たくさんの可能性を秘めています。心に描いている将来の夢。まだまだ先の見えない不安。中学生たちは、これからのいろいろなことに悩みながら進路を決めていきます。

職場体験で実際に仕事を体験し、働くことの厳しさや喜びなどを身をもって体験したことで自己の個性や適性を知ることができます。そして、自分が社会に役立つ存在であることを知ることができたり、自己の新たな可能性を見出すことができ、夢や希望を実現しようとする意欲が出てきます。

職場体験を通じて、学校と家庭や事業所との連携が図られます。子どもたちの可能性がさらに広がるように、地域全体で連携し、見守り育てていくことが大切です。